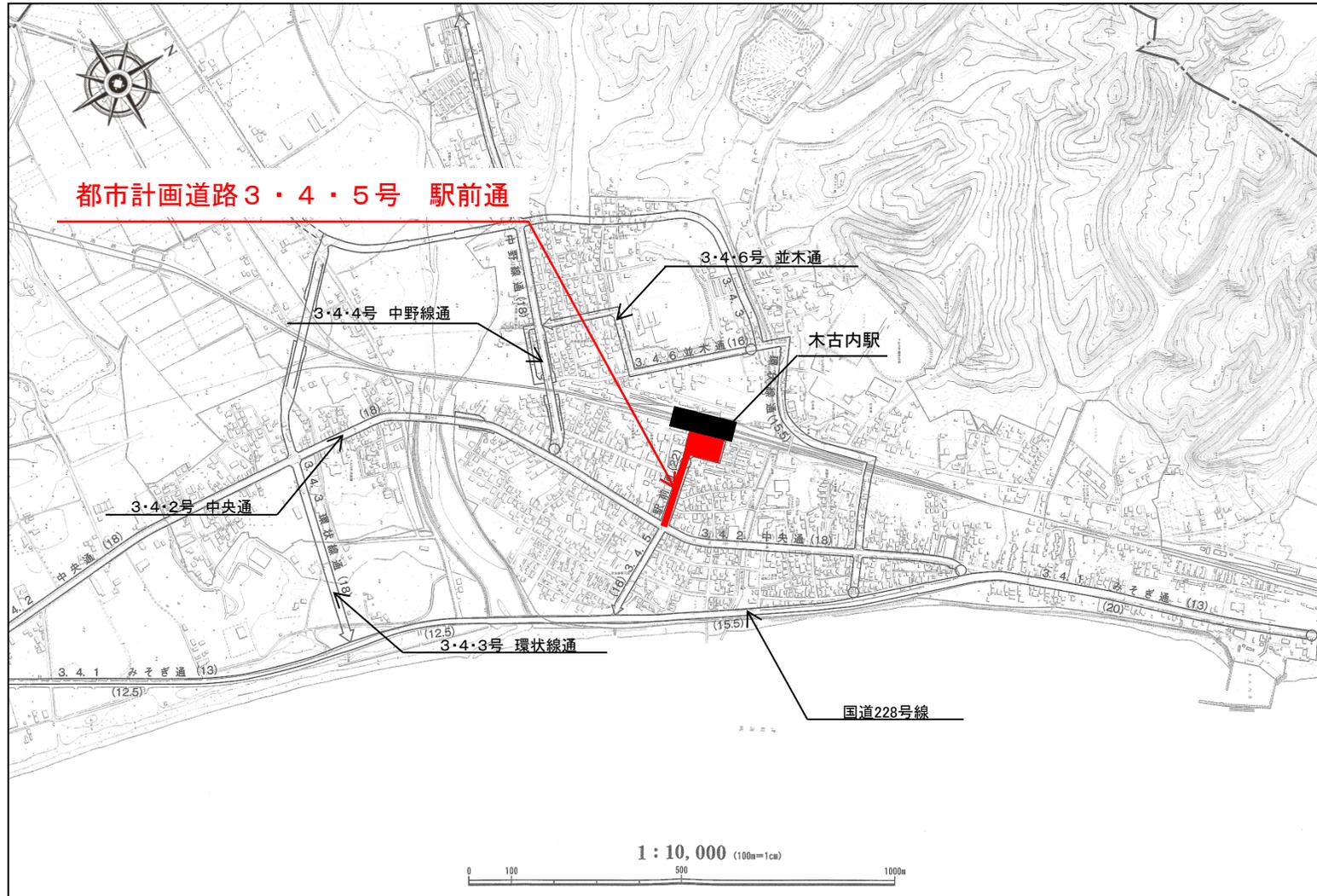


第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

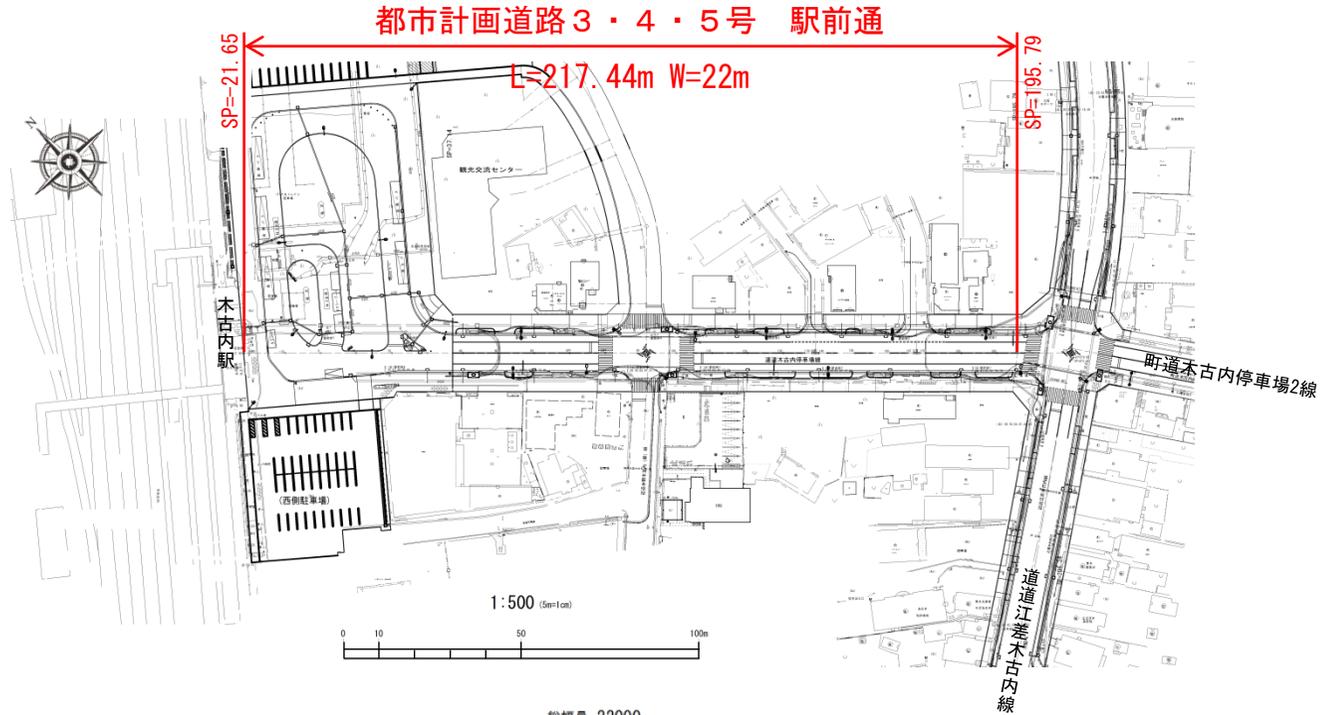
ふりがな 応募者名		ほっかいどう 北海道
街路事業	ふりがな 事業の名称	きこないとしけいかくどうろ 3・4・5ごう えきまえどおりせいびじぎょう 木古内都市計画道路 3・4・5号 駅前通整備事業
	ふりがな 事業主体	ほっかいどう おしまそうごうしんこうきょく はこだてけんせつかんりぶ 北海道 渡島総合振興局 函館建設管理部
	ふりがな 実施都市名	ほっかいどうかみいそぐんきこないちょう 北海道上磯郡木古内町
	事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、平成28年3月の北海道新幹線開業により、北海道最南端の新幹線駅、北海道最初の新幹線発着駅となったJR木古内駅と木古内町中心市街地とを結ぶ3・4・5号駅前通について、歩車道の拡幅及び駅前広場の整備、無電柱化を行うものである。</p> <p>当事業区間はもともと歩道幅員が狭小でバリアフリー化されておらず、既存駅前広場も新幹線開業に伴い増加する観光バス等を円滑にさばきうるスペース、施設を有していなかった。</p> <p>本事業にて歩車道の拡幅や電線類の地中化、駅前広場など北海道の新たな玄関口につながるメインストリートとして整備を行った事により、道路利用者の増加が図られ、また地元商店街や木古内町が主催するイベントに活用されるなど町民から親しまれるシンボリックな街路となっている。</p>
事業規模		<p>○事業延長：220m</p> <p>○事業費：約18億円</p> <p>○幅員：22m(2車線)</p> <p>○事業期間：平成22年6月28日～平成28年3月31日</p>
事業の目的		3・4・5号駅前通は木古内駅と木古内町中心市街地とを結ぶ都市計画道路で市街地の骨格をなす幹線道路である。当事業は、幅員狭小な歩道の整備や電線類の地中化、駅前広場の整備により北海道新幹線の新たな玄関口に相応しい、メインストリートを整備し、利用者の安全性・利便性の向上を図るとともに、中心市街地の活性化に寄与することを目的とした。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の快適性の向上 ・ゆとりのある道路空間の創出 ・地域の活性化
	定量的効果 (検証済の場合記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量 2.6倍(1,789⇒4,692) ・歩行者・自転車交通量 2.4倍(229⇒550)
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前通周辺の地域住民による「木古内町駅前通整備促進期成会」を設立し、当事業に対し地域の協力の基、整備を進めた。 ・福祉施設(病院など)と駅とを結ぶ経路にあたるため高齢者や病院利用者に配慮し、バリアフリー対応の整備を行った。 ・道路や沿線商店街などとの景観統一を図るため、地域住民などと合意形成を図った上で、道路施設のグレードアップ(デザイン照明、インターロッキングブロック舗装)を行った。

事業位置図

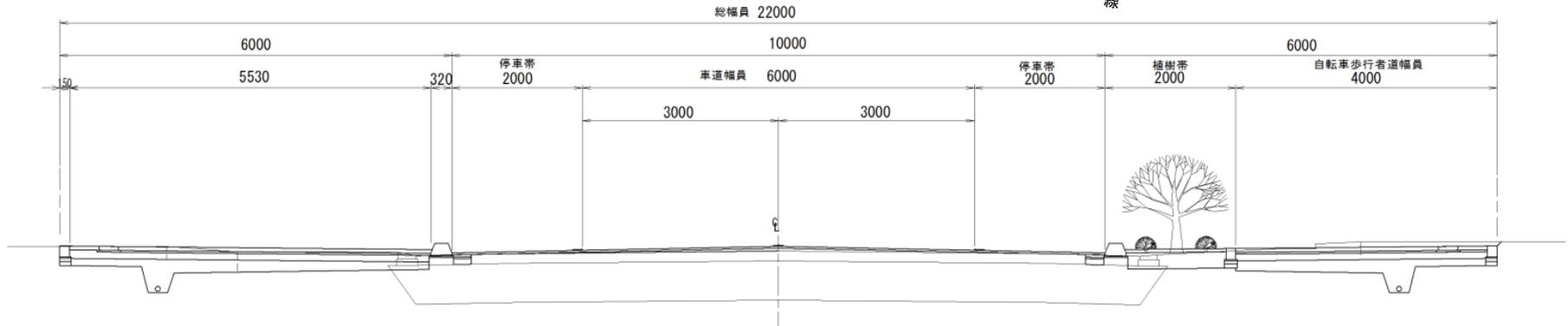


全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

平面図



横断面図



事業前写真

平成20年8月撮影

事業箇所全景



平成20年10月撮影

事業箇所全景



平成20年10月撮影

駅前広場の状況



平成21年5月撮影

夏期歩道の状況



平成17年12月撮影

冬期歩道の状況



平成17年12月撮影

冬期車道の状況



事業後写真

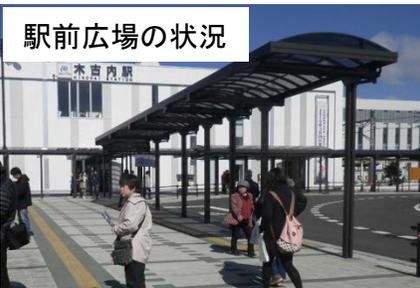
平成28年3月撮影

事業箇所全景



平成28年3月撮影

駅前広場の状況



平成28年5月撮影

夏期歩道の状況



平成28年10月撮影

事業箇所全景



平成28年1月撮影

冬期歩道の状況



平成28年1月撮影

冬期車道の状況



3・4・5・駅前通の整備効果アピール資料

歩行の快適性が向上しました！

歩道の広幅員化や平坦性の確保により歩道利用者のすれ違いが容易となり、車椅子利用者も安心して通行できるようになった。



ゆとりのある道路空間が創出されました！

電線類地中化や沿道緑化、道路施設のグレードアップなどにより、ゆとりのある道路空間が創出された。



交通量調査結果

	供用前 H27. 5. 3(日)	供用後 H28. 5. 1(日)
歩行者・自転車 (人/12h)	229	550
自動車 (台/12h)	1,789	4,692



通学の様子



バス通学の様子



日中の車両通行の様子



夜間の車両通行の様子

その他の事業効果

◎都市の活性化

駅前通の整備とともに北海道新幹線が開業し、道の駅もオープン！

木古内を訪れた観光客が駅前通沿線の商店を利用するなど、地域の活性化に寄与する結果となった。



木古内駅



道の駅 みそぎの郷 きこない



住民・事業者へのヒアリングの様子

街路整備「良くなった」と高評価

沿線事業者も売り上げUPと高評価

事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	○
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	◎
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実に寄与した。 	△
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	◎
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

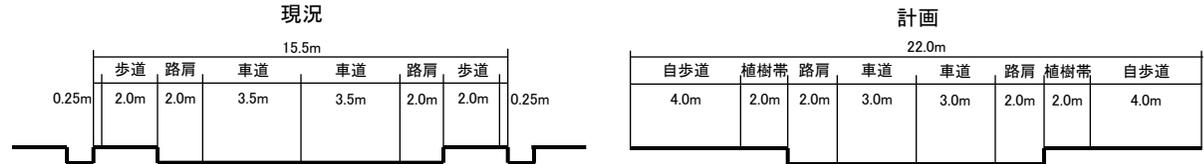
路線全体の進捗状況

都市計画道路3・4・5号 駅前通

凡例

- : 今回応募区間
- : 施工済み区間(完成区間)
- : 既設道路

標準断面



都市計画道路3・4・5号 駅前通 総延長L=220m W=22m
 今回応募区間 L=220m H27年度完成 H28年1月13日供用開始



都市計画図

